

福岡県医発第948号（総）

平成17年8月12日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 竹 嶋 康 弘



国立保健医療科学院が開催する死体検案業務研修会について

標記の件につきまして、日本医師会より別添のとおり周知方依頼がまいりました。

本研修会は、死体検案に関する研修が厚生労働省で予算化されたのに伴い、国立保健医療科学院が日本法医学会の全面的な協力の下に実施されるものであります。

貴会宛に直接、主催者より直接案内がなされていることと存じますが、研修会の参加につきまして、貴会会員への周知方ご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、参加ご希望の方は直接、申込書を国立保健医療科学院へお送りください。

小郡三井医師会より

担当理事 永田正和



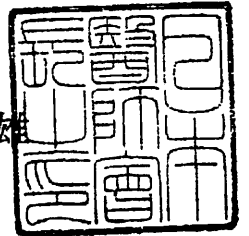
日医発第371号(法37)

平成17年8月8日

都道府県医師会長 殿

日本医師会

会長 植松 治雄



国立保健医療科学院が開催する
死体検案業務研修会について

このたび、国立保健医療科学院が「死体検案業務研修会」を開催する旨、同科学院長から本職に別添写しの依頼がありました。

貴会からも、死体検案業務に従事するかたがたに参加を呼びかけていただきたく、会員への周知方についてご高配を賜われますようお願い申し上げます。

なお、この同科学院からの依頼は、同科学院からも、各都道府県医師会、各郡市区医師会あて直接にご案内されますことを申し添えます。





科学院発第 214 号

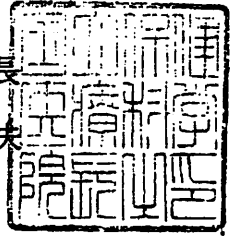
平成17年7月19日

社団法人日本医師会会長

植 松 治 雄 殿

国立保健医療科学院長

篠 崎 英 夫



死体検案業務研修会の開催について（依頼）

死体検案業務研修の推進につきましては、日頃から関係者の皆様方にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、標記研修会につきましては、平成17年度から日本法医学会の全面的なご協力の下に、国立保健医療科学院が実施することになりました。

つきましては、死体検案業務に従事する方々に参加して頂きたく、貴団体の会員に周知して頂き、是非ともご参加を促して頂くようお願い申し上げます。

事 務 連 絡
平成 17 年 8 月 日

各都道府県医師会長 殿

国立保健医療科学院
公衆衛生政策部長
(研修会主任)

「死体検案研修」(ご案内)

盛夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、昨年度、貴会のご協力を得て開催いたしました「死体検案講習会」は全国各地から 130 名を超える皆様のご参加を得たところであり、その内容につきましてもお陰さまでたいへんご好評を頂きました。

それを受けまして、今年度より、死体検案に関する研修が厚生労働省で予算化され、国立保健医療科学院の研修として正式に実施されることとなりました。実施につきましては、今年度も昨年度同様、日本法医学会の全面的なご協力を頂いております。

つきましては、開催まで日が浅く申し訳ございませんが、貴職におかれましては会員各位にご参加の呼びかけをおねがいたしたく、ご案内を差し上げた次第です。ご関心のある多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

どうぞ今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、本ご案内の発送につきましては、日本医師会のご了解をいただいておりますこと、また、各郡市医師会にもご案内を差し上げておりますことを申し添えます。

以上

(本研修会に関するお問い合わせは、国立保健医療科学院 教務 3 係までお願いいたします。 048-458-6185、Fax048-458-6112)

事 務 連 絡
平成 17 年 8 月 日

各郡市区医師会長 殿

国立保健医療科学院
公衆衛生政策部長
(研修会主任)

「死体検案研修」(ご案内)

盛夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、昨年度、貴会のご協力を得て開催いたしました「死体検案講習会」は全国各地から 130 名を超える皆様のご参加を得たところであり、その内容につきましてもお陰さまでたいへんご好評を頂きました。

それを受けまして、今年度より、死体検案に関する研修が厚生労働省で予算化され、国立保健医療科学院の研修として正式に実施されることとなりました。実施につきましては、今年度も昨年度同様、日本法医学会の全面的なご協力を頂いております。

つきましては、開催まで日が浅く申し訳ございませんが、貴職におかれましては会員各位にご参加の呼びかけをおねがいたしたく、ご案内を差し上げた次第です。ご関心のある多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

どうぞ今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、本ご案内の発送につきましては、日本医師会のご了解をいただいておりますこと、また、都道府県医師会にもご案内を差し上げておりますことを申し添えます。

以上

(本研修会に関するお問い合わせは、国立保健医療科学院 教務 3 係までお願いいたします。 048-458-6185、Fax048-458-6112)

平成17年度「死体検案研修」のご案内

国立保健医療科学院では、今年度、厚生労働省の方針に基づき、「死体検案」業務の充実を図るため、日本法医学会の協力の下、日頃、検案実務に従事する機会の多い医師を対象に、死体検案研修を開催することといたしました。

研修会は対象者の日常診療の便宜を考え、3日間に及ぶカリキュラムを2回に分割し、土日を利用して10月及び2月に実施することといたしております。また、この合間に、東京都監察医務院や大阪府監察医事務所等における監察医業務や、大学医学部の法医学教室における法医学解剖を各自で見学実習をしていただき、後半の講習会の材料としていただく予定です。

なお、見学実習を含む全カリキュラム修了者には受講修了証が発行されます。

記

1. 期 日： (前半) 平成17年10月1日(土) 10時～17時30分
2日(日) 9時30分～15時30分
(後半) 平成18年2月11日(土、祝) 9時20分～17時
2. 対象者： 検案業務に従事する機会の多い医師
3. 定 員： 100名
4. 受講料： 無料
5. 会 場： 国立保健医療科学院(埼玉県和光市南2-3-6)
(<http://www.niph.go.jp/access/image/wako.gif>)
6. 日程表： 別紙参照
7. 備 考：
 - (1) 受講を希望される方は、前半、後半共に出席することが可能であることをご確認ください。また、別途、その間に監察医業務や法医学解剖を見学することが可能であることもご確認ください。
 - (2) 昼食及び意見交換会でご用意する軽食・飲料は、実費(各1000円、2000円程度)をご負担いただきます。
 - (3) 本研修会の内容は、平成16年度に国立保健医療科学院を会場に実施いたしました「死体検案講習会」とほぼ同一ですので、昨年度、同講習会を修了された方は、再度受講する必要はありません。

・申し込み・お問合せ先：同封の参加申込書をFAXまたは郵送にてお送りください。

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6 国立保健医療科学院 教務第三係

電 話：048-458-6185

F A X：048-458-6112

(宿泊は、各自ご手配ください。最寄りのホテルとしては、東横イン和光市駅前がご
います。<http://www.toyoko-inn.com/hotel/00090/index.html>)

Fax 番号 048-458-6112 へご返信ください。

死体検案研修 参加申込書

(前半：平成17年10月1日・2日

後半：平成18年2月11日)

於：国立保健医療科学院

お申込日 平成17年 月 日

参加者お名前				様
診療科名 役職名				
日中のご連絡先（都道府県名からご記入下さい。） 〒 Tel: Fax: Email:				
所属医師会名		警察（協力）医の 指定の有無	有 無	

お申込みは、下記連絡先までFAXにてお知らせ願います。
なお、申込受付は9月2日（金）までとさせていただきます。

連絡先：〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6

国立保健医療科学院総務部教務課教務第三係

Tel: 048-458-6185

Fax: 048-458-6112

平成17年度 死体検案研修会プログラム

(前半)1日目 平成17年10月1日(土)	担 当	形 式	時 間	主な内容
開講式			10:00 ~ 10:20	・厚生労働省担当官 挨拶 ・日本法医学会理事長 挨拶
I. 目的・法規	吉田謙一(東京大学)	講 義	10:20 ~ 11:50	・異状死体関連法規など
II. 検案書 1)法規・書式 2)ICD10	山内春夫(新潟大学)	講 義	12:00 ~ 13:00	・死体検案書書式記入要領 ・ICD10・死因統計など
昼 食				
3)検案書の書き方	高津光洋(慈恵医大)	講 義	13:50 ~ 15:50	症例提示・解説 ディスカッション 大規模災害
	池田典昭(九州大学)	実 習		
	勝又義直(名古屋大学)	講 義		
III. 監察医業務	福永龍繁 (東京都監察医務院)	ビデオ	16:00 ~ 16:30	
		講 義	16:30 ~ 17:30	
IV. 意見交換会(軽食)			17:45 ~ 19:00	

注)内容・時間・講師については変更の可能性があります。

(前半)2日目 平成17年10月2日(日)	担 当	形 式	時 間	主な内容
V. 検案の注意点	勝又義直(名古屋大学)	講義・実習	9:30 ~ 12:00	
昼 食				
VI. 検案の実際	佐藤喜宣(杏林大学) 大野曜吉(日本医大)	講義・実習	13:00 ~ 15:30	

(後半)3日目 平成18年2月11日(土・祝)	担 当	形 式	時 間	主な内容
VII. 異状死演習	吉田謙一(東京大学)	講義・実習	9:20 ~ 10:50	
VIII. 家族への対応	勝又義直(名古屋大学)	講 義	11:00 ~ 11:45	
昼 食				
IX. 症例報告	藤田眞幸(東海大学) 大澤資樹(山形大学)	説明・発表 ・講義	12:35 ~ 16:30	現場見学報告に基づく討議
修了式	厚生労働省担当官 法医学会理事長		16:30 ~ 17:00	修了証書授与